

報道関係者各位

2016年3月1日
株式会社システムサポート

システムサポート、翻訳センターのデータ閲覧システムを Amazon Aurora へマイグレーション

株式会社システムサポート（本社・石川県金沢市、代表取締役社長・小清水良次、以下 STS）は、株式会社翻訳センター（本社・大阪府大阪市、代表者・東 郁男、以下翻訳センター）のデータ閲覧システムで使用しているリレーショナルデータベースマネジメントシステム（RDBMS）を、アマゾン ウェブ サービス（AWS）が提供する Amazon Aurora にマイグレーションしたことを発表します。

従来、翻訳センターのデータ閲覧システムは世界最大シェアの RDBMS を採用し、Amazon Relational Database Service（Amazon RDS）上で使用していました。しかし、使用していた RDBMS のライセンス（バージョン）の販売終了が近づいていたことから、翻訳センターは販売終了に伴うリスクの回避を主目的として Amazon Aurora へのマイグレーションを決めました。

STS はマイグレーション作業を 12 月 16 日～1 月 25 日の約 1 ヶ月間という短期間で実施。なおインフラは STS、アプリケーション部分は株式会社エムキューブ（本社・東京都大田区、代表取締役社長 遊佐 芳衛）が担当しました。STS は、東京リージョンでは 2015 年 10 月より利用が開始された Amazon Aurora の技術検証をいち早く行っていたことから、本案件にスムーズに対応することができました。

■Amazon Aurora について

Amazon Aurora はリレーショナルデータベースエンジンで、高性能の商用データベースの可用性およびスピードと、オープンソースデータベースのコスト効率性および簡素性を併せ持っています。Amazon Aurora は MySQL と互換性があり、ほとんどの MySQL アプリケーションに変更を加えることなく、最大で MySQL の 5 倍のパフォーマンスを提供します。東京リージョンでは 2015 年 10 月より利用可能となっています。

※本事例は以下セミナーで STS より発表の予定です。

セミナー名：『Amazon RDS for Aurora』でどんなシステム開発ができるか？

日時：2016 年 3 月 8 日（火） 13:30～17:00

場所：アマゾンウェブサービスジャパン（東京・目黒）

（セミナー詳細）<http://www.sint.co.jp/products/siob/sn/2016/0308.html>

株式会社システムサポートについて

1980年の会社設立以来、ITを活用したシステムの企画から開発、運用・保守までのサービスをワンストップで提供するだけでなく、オリジナル製品である建て役者（工事管理ソリューション）や、クラウド工房 powered by AWS（クラウドソリューション）の提供、さらにはIT技術者の教育まで、お客様のICT環境を支援するサービスを幅広い業界で提供しています。

システムサポートは、AWS上での顧客の新規アプリケーションの設計、移行、または構築を支援するプロフェッショナルサービス企業であるAPNアドバンスドコンサルティングパートナーです。2015年3月にはAPNパートナーアワード「Rising Star of the Year」を受賞しています。

※記載された製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon Aurora は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

本件に関する報道関係者の問い合わせ先
株式会社システムサポート
コーポレートコミュニケーション室・城（きずき）
TEL:03-3342-9611 FAX:03-3342-3952
<http://www.sts-inc.co.jp>